

アグリコン型イソフラボン は 反 復 不 成 功 例 に 対 す る 着 床 環 境 を 改 善 さ せ る

○ 灘 本 圭 子¹、 西 原 卓 志¹、 中 島 野 枝²、 影 山 将 克²、 井 上 朋 子¹、 森 本 義 晴¹

¹HORAC グランフロント大阪クリニック、²株式会社ディーエイチシー

【目的】

ART では 良 好 胚 を 移 植 し て も 妊 娠 に 至 ら ない 反 復 不 成 功 例 な ど、 原 因 が 明 ら か に で き ず 治 療 の 方 針 が 立 て ら れ ない 症 例 が 散 見 さ れ て い る。 大 豆 胚 芽 由 来 の ア グ リ コ ン 型 イ ソ フ ラ ボ ン は、 抗 酸 化 力 に 優 れ、 血 流 改 善 作 用 が あ り、 ま た 着 床 の た め に 不 可 欠 な 白 血 病 阻 害 因 子 (LIF) や ト ラ ン ス フ ォ ー ミ ン グ 成 長 因 子 (TGF- β) な ど の サ イ ト カ イ ン の 分 泌 を 促 進 さ せ る こ と が 明 ら か に な っ て い る。 そ こ で 本 検 討 で は、 反 復 不 成 功 例 の 患 者 を 対 象 に ア グ リ コ ン 型 イ ソ フ ラ ボ ン を 含 有 す る サ プ リ メ ン ト を 投 与 し、 着 床 に 与 え る 影 響 を 調 査 す る 目 的 で 検 討 を 行 っ た。

【対象と方法】

2 回 以 上 胚 移 植 を 施 行 す る も 着 床 に 至 ら ない 患 者 30 症 例 (平 均 年 齢 40.7 歳) に 対 し、 少 なく と も 採 卵 周 期 1 日 目 よ り 妊 娠 反 応 陽 性 ま で サ プ リ メ ン ト 投 与 し た。 そ の う ち の 採 卵 施 行 患 者 23 例 (コ ン ト ロ ー ル と し て 服 用 し て い ない 症 例 15 例) に お け る 卵 胞 液 中 の 抗 酸 化 能 (PAO) お よ び 過 酸 化 脂 質 (LPO) を 測 定 し た。 ま た 13 症 例 に 対 し 服 用 前 後 の 受 精 率 ・ 良 好 胚 率 を 比 較 し た。 さ ら に 胚 移 植 施 行 患 者 19 症 例 の 着 床 の 有 無 を 調 査 し た。

【結果】

卵 胞 液 中 の PAO は 服 用 群 で 646.4 μ M、 コ ン ト ロ ー ル 群 で 742.4 μ M と 有 意 に 低 値 を 示 し た ($p < 0.01$)。 LPO は 服 用 群 で 2.24 μ M、 コ ン ト ロ ー ル 群 で 2.99 μ M と 有 意 に 低 値 を 示 し た ($p < 0.01$)。 胚 移 植 を 施 行 し た 患 者 19 症 例 中 5 症 例 が 着 床 に 至 っ た。

【考察】長期にわたり妊娠に至らない症例では、通常の不妊治療が困難となるケースもあるが、着床環境の改善を図ることで妊娠が成立する症例も散見されている。通常の不妊治療以外のアプローチとして、アグリコン型イソフラボン含有のサプリメントが着床環境を整え、反復不成功例に対して有効であることが示唆された。